

特別展示

神さまと仏さま 土偶さま

日立の信仰
と
祈り

原始古代から現代まで



爪書不動霊験図 1953年(昭和28) 当館蔵

2026年9月26日[土]—11月8日[日]

開館時間：9時30分—16時30分 [入館は16時まで]

休館日：月曜日(10月12日[月・祝]は開館し、翌日休館)

観覧無料

かみね公園入口

日立市郷土博物館

〒317-0055 茨城県日立市宮田町5-2-22

TEL.0294-23-3231 FAX.0294-23-3230

神さま 仏さま 土偶さま 土偶さま

日立的信仰
と
祈り

原始古代から現代まで

私たちは何を祈り、つないできたのか。

「何か信仰を持っていますか？」という問いに、日本人の多くが「信仰はない」と答えるといいます。しかしその一方で、私たちの暮らしのなかには、日々の生活から人生の節目まで、数多くの「祈り」が息づいています。目に見えない祈りの根底には、形を変えながら受け継がれてきた「信仰」の姿が確かに存在しているのではないのでしょうか。

今も昔も、私たちの日常は安全や健康、豊かな暮らしへの祈りに満ちています。現代の私たちが空気のように無意識に受け入れているその信仰は、かつて先人たちが切実に生きてきた証でもあります。

地域の信仰は、単なる人々の心の拠り所にとどまりません。時には時代ごとの様々な様相と結びつき、時には形を変えながら継承されてきました。そのような人々の「信仰」と「祈り」という底流に光をあてることで、地域の歴史はより深く、立体的に見えてきます。

本展では当館の所蔵資料を中心に、日立市域に遺された信仰と祈りの足跡をたどります。



土偶(大近平遺跡出土)
縄文時代



膳神社棟札
1513年(永正10)



万祝「秋鯛釣一番」
1936年(昭和11)



溪斎英泉《えびす・大黒》
江戸時代後期



清原雪信《岩上観音像》
江戸時代前期

■関連催事(ギャラリートーク)

各分野の担当者が展示資料を解説します。

【開催日】10月12日[月・祝]、10月25日[日] 【時間】両日とも午後2時から(申込不要)

かみね公園入口

日立市郷土博物館

〒317-0055 茨城県日立市宮田町5-2-22
TEL.0294-23-3231 FAX.0294-23-3230

【交通】

- ◆JR常磐線日立駅中央口よりバス乗車、「神峰公園口」下車、徒歩1分
- ◆常磐自動車道日立中央インターから10分
博物館脇に駐車場がございますが、満車の場合はかみね公園駐車場をご利用下さい。

